

タブレット端末活用動画集
「+タブレ」

動画を使った研修を実施するための
ファシリテーター用進行資料



カメラアプリで

撮って

提示装置で

映して

書き込みアプリで

書き込む

タブレット端末活用動画集 「+タブレ」

目次

「+タブレ」を使った研修内容	・・・ 1
準備について	・・・ 2
研修パック	
基本編①提示	・・・ 3
基本編②書き込み (iTouch)	・・・ 7
基本編②書き込み (Sketch)	・・・ 12
応用編 モデルⅠ	・・・ 17
モデルⅡ	・・・ 19
モデルⅢ	・・・ 21
基本操作	
電源のON, OFF	・・・ 23
デジタルテレビとの接続	・・・ 24

「+タブレ」を使った研修内容

この「+タブレ」には、タブレット端末を活用した「模擬授業」や「授業実践例」と、基本の操作である電源の入れ方や周辺機器への接続の方法、困ったときのトラブルシューティング集などの動画が収録されています。動画を視聴し、一緒に操作をしながら、「撮って」「映して」「書き込む」活用方法を研修します。明日の授業づくりに生かせるタブレット端末の活用方法を身に付けましょう。

研修パックの構成

基本編①(提示)

カメラで撮影したり、提示する方法について、模擬授業動画などを参考に研修します。一緒に操作しながらタブレット端末を活用して指導する方法を身に付けよう！

Step1 授業実践例を見よう

実際の授業を参考に活用をイメージしよう

Step2 カメラアプリを使おう

カメラアプリの基本操作を身に付けよう

Step3 模擬授業を見よう

模擬授業を参考に活用場面を知ろう

Step4 授業づくりをしよう

動画を参考にして授業づくりをしよう

Step5 アイディアを共有しよう

考えた活用のアイディアを共有しよう

基本編②(書き込み)

提示した画像(資料や教材)に(iTouch, Skitch)を使って、書き込むための操作を研修します。説明や指示するときなど、注目させたいところを示し、指導する方法を身に付けよう！

Step1 授業実践例を見よう

実際の授業を参考に活用をイメージしよう

Step2 書き込みアプリを使おう

書き込みアプリの基本操作を身に付けよう

Step3 模擬授業を見よう

模擬授業を参考に活用場面を知ろう

Step4 授業づくりをしよう

動画を参考にして授業づくりをしよう

Step5 アイディアを共有しよう

考えた活用のアイディアを共有しよう

応用編

基本編の研修実施後に、さらに幅広い活用方法を身に付けるために行う研修です。学校の実態に合わせてモデルを選択し、定期的、継続的な研修を実施していきましょう！

モデルⅠ

動画を視聴し、紹介された活用方法を授業で実践しよう

モデルⅡ

動画で紹介された活用方法を実習しながら身に付けよう

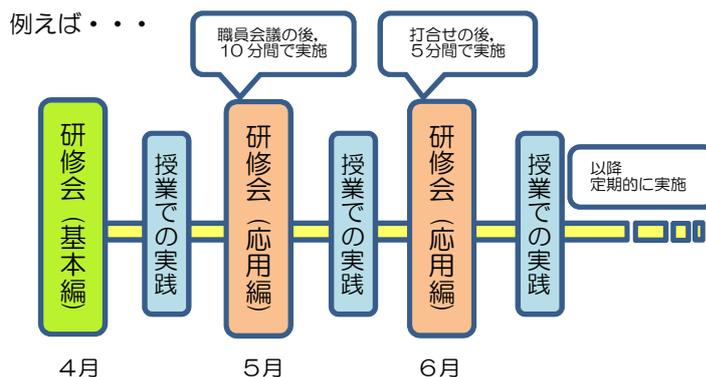
モデルⅢ

動画で活用方法を知り、さらに実践事例を紹介してもらおう

「+タブレ」を使った研修例

基本編の研修会で、「撮って」「映して」「書き込む」活用方法を身に付けます。その後、応用編での「動画の視聴」と「日々の授業実践」のプロセスを複数回繰り返し、研修を進めます。継続的に研修会を実施し、アイディアの共有を図ることで日常的にタブレット端末が活用され、ICT活用指導力の向上につながると考えます。

要点がまとまった短時間の動画を視聴する内容なので、職員会議や定例の打合せの後などに研修の場を設定することで、定期的にも実施することもできます。



準備について

タブレット端末

使用する全ての端末の設定を同様にしておくと、研修に参加される先生方が戸惑うことなく取り組むことができます。特に、次に示す3項目について確認してください。

- ① 使用に適した充電状態
- ② 研修で使うアプリ（カメラアプリ、iTouchまたはSketch）のインストール
- ③ ホーム画面に研修で使うアプリを配置

※タブレット端末やアプリは、事前に起動し、動作を確認しておいてください。

（初期設定等を求められる場合があります。）

研修に必要なもの（例）

<ファシリテーター>

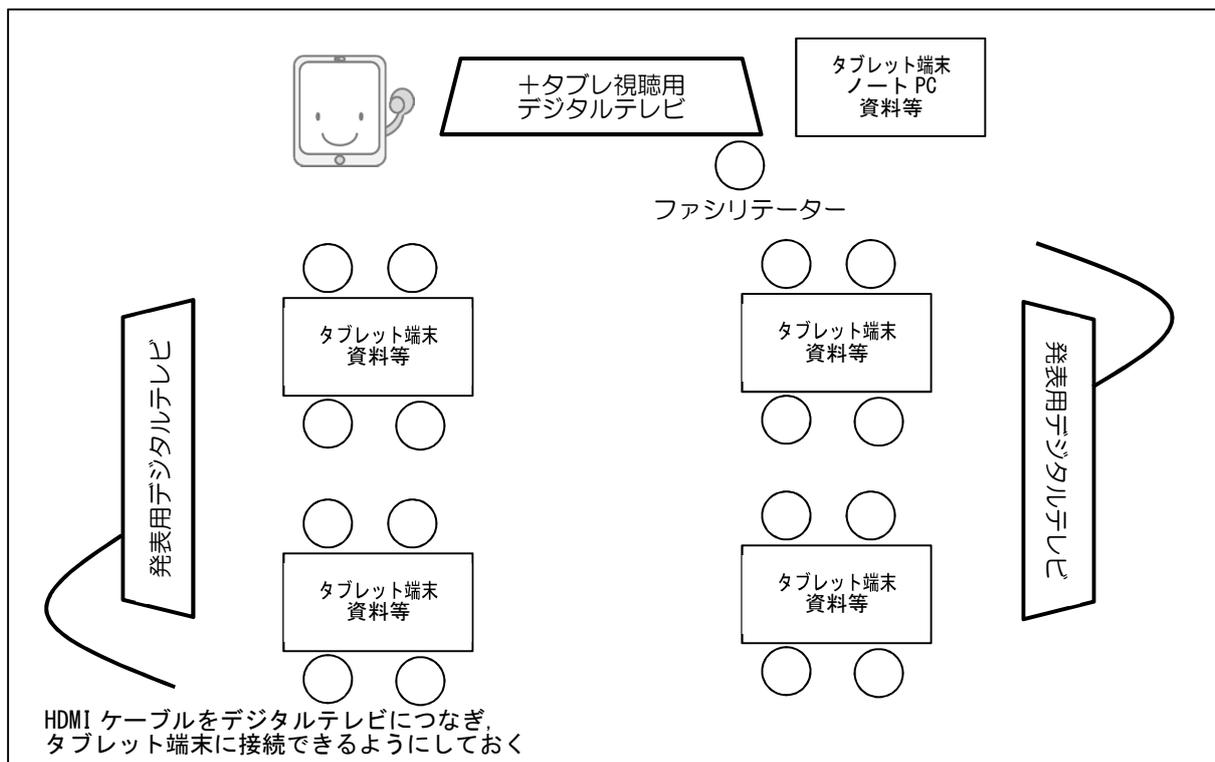
- ・進行資料
- ・ノートパソコン（+タブレ操作用）
- ・デジタルテレビまたは、プロジェクタ
- ・HDMIケーブル、接続アダプタ
（デジタルテレビとノートパソコン、デジタルテレビとタブレット端末を接続する）
- ・タブレット端末（ファシリテーター説明用、参加者操作用）

<参加者>

- ・デジタルテレビに映してみたい資料、教科書、児童生徒作品等

研修会場例

「16名4グループ タブレット端末2名で1台」を想定した場合



※学校のICT環境に合わせて、タブレット端末やデジタルテレビの台数は適宜変更可

タブレット端末活用動画集 「+タブレ」

基本編①（提示）

「カメラで撮影して，提示して
指導する方法を身に付けよう」



カメラアプリで

撮って

提示装置で

映して

書き込みアプリで

書き込む

はじめに

準備物



コンピュータ、デジタルテレビまたは、プロジェクタ
HDMIケーブル、接続アダプタ、撮影する資料等
カメラアプリインストール済みのタブレット端末



この研修は、「先生方が今まで培ってきた授業スタイル」に、
「タブレット端末も活用できるという選択肢」をプラスすることを目的として行います。

基本編①では、カメラアプリで「撮って」、提示装置で「映す」という操作方法を中心に、
授業での活用方法について研修します。



本日の研修の流れは、ご覧のようになります。

※「基本編①提示」のページを提示し、Step1～Step5の流れを確認します。



を起動



研修一覧

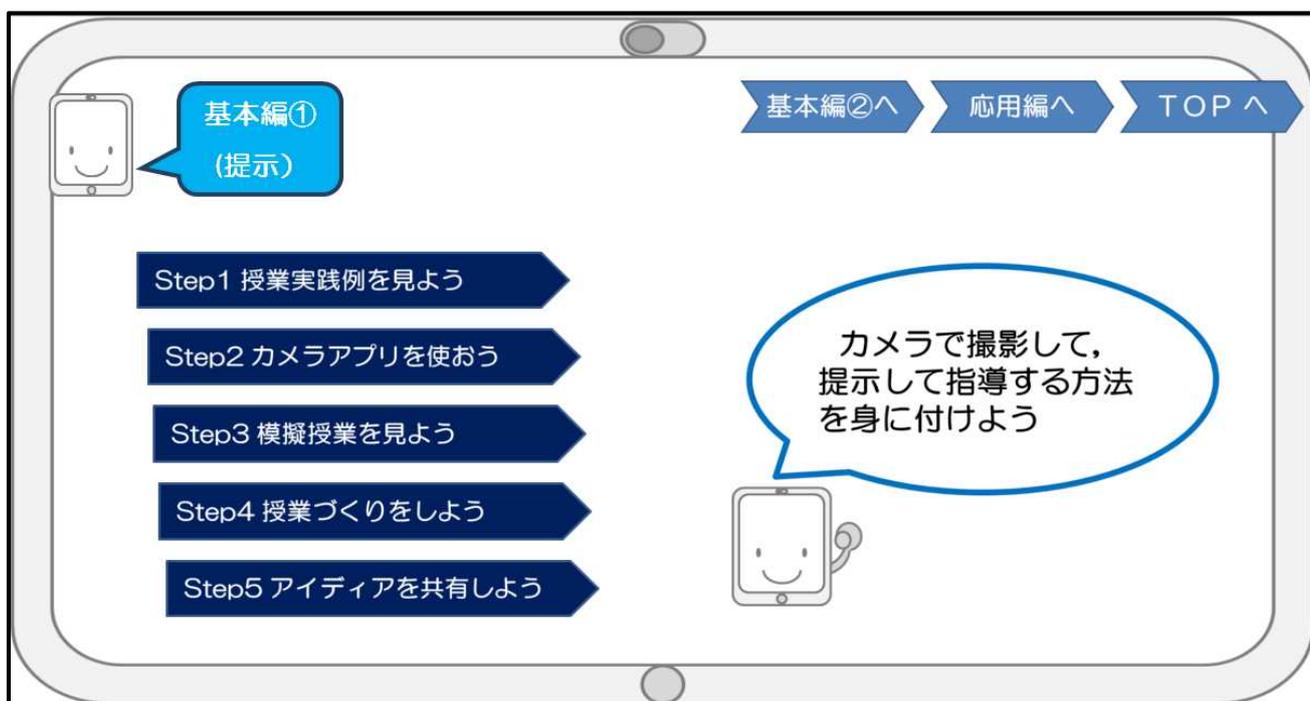
をクリック



「提示」へ

をクリック

「基本編①(提示)」のページ



Step 1 Step1 授業実践例を見よう**授業実践例を見よう**

最初に、「Step1 授業実践例を見よう」です。実際の授業の様子を見ていただきます。授業で活用している様子を見て、活用のイメージを持っていただきたいと思います。高校の観光科の授業です。ご覧ください。

授業実践例の動画視聴

※中央の画像をクリック ⇒ Windows Media Player が起動します。



授業で活用するイメージを持つことができたでしょうか。資料を部分的に拡大したり、動かしたりすることで、見せたいところに視線を集中させることができますね。生徒が一斉に注目している様子から、指示や説明が明確に伝わっていることが分かります。このような授業での活用がみなさんもできるように、これから研修をしていきましょう。

Step 2 Step2 カメラアプリを使おう**カメラアプリを使おう**

次に、「Step2 カメラアプリを使おう」です。授業実践例の動画の中で使われていた、カメラアプリの操作方法をご覧ください。動画を見た後に、みなさんにも実践していただきます。では、動画ご覧ください。

カメラアプリ動画の視聴

※お使いのOSに合わせて
中央の画像をクリック ⇒ Windows Media Player が起動します。



カメラアプリの操作方法でした。でもう一度動画を流しますので、皆さんも動画を参考に、お持ちいただいた資料を撮影してみましょう。

カメラアプリ動画の視聴

※必要に応じて操作毎に一時停止してください。

Step 3 Step3 模擬授業を見よう**模擬授業を見よう**

では、続いて、「Step 3 模擬授業を見よう」です。
算数科での、ものさしの長さを読み取る授業における活用例です。
では、動画をご覧ください。

模擬授業の動画視聴

※中央の画像をクリック ⇒ Windows Media Player が起動します。



授業で活用するイメージを持つことができたでしょうか。
ものさしを「撮って」、「映して」見せている内容でしたが、このように活用し、細かい目盛りを大きく映して見せることで、分かりやすい説明になっていました。
児童生徒の理解を促すには有効な活用方法です。

資料の提示の仕方、見せたいところに集中させることができますね。

Step 4 Step4 授業づくりをしよう**授業づくりをしよう**

次は、「Step 4 授業づくりをしよう」です。お持ちいただいたの資料の中から
「撮って」「映した」方が分かりやすい内容を探し、授業での活用場面を考えてみましょう。
「拡大プリンターで大きく見せたい」「模造紙に書き映して大きく見せたい」という内容と同じと考えてくださって結構です。
グループで相談しながら進めても構いません。いろいろな場面を考えてみましょう。
思いついたら、グループ内で紹介し合ってみましょう。

次の Step で、各グループのアイデアを紹介していただきます。
グループの代表を決めておいてください。

Step 5 Step5 アイディアを共有しよう**アイディアを共有しよう**

次は、「Step 5 アイディアを共有しよう」です。
各グループのアイデアを代表の先生に発表していただきます。
では、〇〇〇〇のグループからお願いします（順に発表）。

おわり



Step 1 ～Step 5 までの内容は終了しました。

最後に先生方の感想を共有します。

〇〇先生 (〇学年の先生, 〇〇教科の先生) からお願いします。

※内容や時間に合わせて、発表する先生の人数等を調整しましょう。



以上で、本日の研修は終了です。今後の授業で活用してみましよう。

今日の研修会で見た動画の他にも「+タブレ」のサイトには、たくさんの「活用例」があります。総合教育センターのサイトから、ご覧ください。



模擬授業



「提示」
動画へ

「活用例「提示」動画」のページ

模擬授業「提示」

カメラアプリで撮って

提示画面で映して

TOP ^

01 ものさしを大きく映して、目盛りの読み方を理解させる	02 小さい部品を大きく映して、特徴を際立たせる	03 教材を直接黒板に大きく映して、漢字の読み書きの定着を図る	04 跳んでいる姿を撮影し、跳び箱のポイントに気付かせる
05 挿絵を大きく映して、視点を集中させる	06 水槽の様子を大きく映して、メダカの生態を理解させる	07 拡大・縮小することで、相似の性質を理解させる	08 フラッシュ型教材を作成し、繰り返し活用して定着を図る

タブレット端末活用動画集
「+タブレ」

基本編②（書き込み）
「提示した画像に書き込んで
指導する方法を身に付けよう」



カメラアプリで

撮って

提示装置で

映して

書き込みアプリで

書き込む

はじめに (iTouch 版)



準備

コンピュータ、デジタルテレビまたは、プロジェクタ
HDMIケーブル、接続アダプタ、撮影する資料等
iTouchのインストール済みタブレット端末



基本編①では、カメラアプリで「撮って」、撮影した画像を拡大して「映す」ことで、指示説明が明確になるといった効果を感じることができました。



これから行う基本編②では、「iTouch(イタッチ)」という画像などに書き込みができるアプリを使います。

「撮った」画像を提示装置で「映して」「書き込む」ことで、見せたい部分を焦点化するタブレット端末の活用方法について研修します。



本日の研修の流れは、ご覧のようになります。

※「基本編②(書き込み)」のページを提示し Step1～Step5 の流れを確認する。



を起動

⇒

研修一覧

⇒

「書き込み」へ

をクリック

をクリック

「基本編②(書き込み)」のページ

基本編②
(書き込み)

応用編へ 基本編①へ TOPへ

Step1 授業実践例を見よう

Step2 書き込みアプリを使おう

Step3 模擬授業を見よう

Step4 授業づくりをしよう

Step5 アイディアを共有しよう

提示した画像に書き込んで指導する方法を身に付けよう

Step 1

Step1 授業実践例を見よう

授業実践例を見よう



最初に、「Step1 授業実践例を見よう」です。実際の授業の様子を見ていただきます。社会の「住みよいくらしをつくる」という単元で、昔と今の給水量の違いをグラフから読み取る場面です。

では、動画を見ましょう。

授業実践例の動画視聴



※中央の画像をクリック ⇒ Windows Media Player が起動します。



資料にあるグラフのみを拡大してデジタルテレビに映し出すことで、子供たちの視線を集中させていました。

さらに、ポイントとなる部分に印を書き込むことで、子供たちに見せる部分を焦点化していたことが分かります。

また、グラフに囲み線を書き込むことで、変化に注目させ、その後の課題を的確に示していました。

Step2 Step2 書き込みアプリを使おう **書き込みアプリの使い方**



次は、「Step2 書き込みアプリを使おう」です。授業実践例の中でも使われていた、「iTouch (イタッチ)」の操作方法をご覧ください。

動画を見た後に、みなさんにも実践していただきます。

まずは、「アプリの起動～資料の取り込み」までの動画です。では、動画をご覧ください。

iTouch 動画前半の視聴



※ 1分23秒 で一時停止



この画面で
一時停止！



アプリの起動～資料の取り込みまでを見ていただきました。

お持ちいただいた資料を撮って、画像を取り込んでみましょう。

使用する画像が決まったら、「**チェックマーク**①」をタップして、画像を決定してください。

資料を取り込んだらそのままお待ちください。



つづいて、取り込んだ資料に「書き込み」をする操作方法です。

では、続きを見ましょう。

iTouch 動画後半の視聴



※最後の操作説明画面で、一時停止してください。



この画面で
一時停止！



メニューバーから操作を選ぶことで書き込みができます。

操作方法は画面に示しておきますので参考にしてください。

これから 分ほど時間を取ります。自由に「書き込み」の練習をしてみましょう。

Step3 Step3 模擬授業を見よう ▶ 模擬授業を見よう



続いて、「Step3 模擬授業を見よう」です。
技術・家庭科の授業で回路を説明する場面での活用例です。
では、動画をご覧ください。

模擬授業の動画視聴



※中央の画像をクリック ⇒ Windows Media Player が起動します。



授業で活用するイメージを持つことができたでしょうか。
組み立てた回路を「撮って」、大きく「映して」、 「書き込み」をしながら説明している内容でした。
複雑に並んだ部品の中でも、特に本時で注目させたい部分を囲んで示したり、書き込んだりすることで説明が明確になっていました。
実習を伴う教科では、このように生徒の手元にあるものと同じものを映して説明することで指示説明が的確になるので、時間の短縮につながり、より多くの活動時間を確保することができます。

Step4 Step4 授業づくりをしよう ▶ 授業づくりをしよう



次は「Step4 授業づくりをしよう」です。お持ちいただいた資料の中から「撮って」「映して」「書き込む」ことで分かりやすくなる内容を探し、授業での活用を考えてみましょう。
今まで「拡大印刷したり、模造紙に大きく書いたりしたものに書き込みたい」と考えて授業の際に準備していた内容と同じと考えて結構です。
グループで相談し合いながら進めても構いません。では、始めましょう。

次の Step では、各グループのアイデアを紹介していただきます。
グループの代表を決めておいてください。

Step5 Step5 アイディアを共有しよう ▶ アイディアを共有しよう



次は、「Step5 アイディアの共有をしよう」です。
各グループのアイデアを代表の先生に発表していただきます。
では、こちらのグループからお願いします（順に発表）。

おわり



Step 1～Step 5 までの内容は終了しました。
最後に先生方から感想を發表していただきます。
〇〇先生からお願いします。

※内容や時間に合わせて、發表する先生の人数等を調整しましょう。



以上で、本日の研修は終了です。今後の授業で活用してみましよう。

今日の研修会で見た動画の他にも「+タブレ」のサイトには、たくさんの「活用例」があります。総合教育センターのサイトから、ご覧ください。



トップページ



模擬授業



「書き込み」
動画へ

をクリック

をクリック

「模擬授業「書き込み」動画」のページ

模擬授業 「書き込み」

TOP ^

カメラアプリで
撮って

録画アプリで
映して

書き込みアプリで
書き込む

01 回路の画像に書き込んで、作業上の注意点を確認する	02 児童生徒の発言を書き込んで、学級全体で共有する	03 各班の実験結果を集約して書き込んで、考察させる	04 撮影した身近な風景に書き込んで、「平行」に気付かせる
05 図に補助線を書き込んで、問題の解き方に気付かせる	06 マスキングすることで語句を隠し、既習事項を確認する	07 児童生徒の絵画作品に書き込んで、特徴を際立たせる	08 問題文や図に書き込むことで、説明を明確にする

はじめに (Skitch版)



準備物

コンピュータ、デジタルテレビまたは、プロジェクタ
HDMIケーブル、接続アダプタ、撮影する資料等
Skitchのインストール済みタブレット端末



基本編①では、カメラアプリで「撮って」、撮影した画像を拡大して「映す」ことで、指示説明が明確になるといった効果を感じることができました。



これから行う基本編②では、「Skitch(スキッチ)」という画像などに書き込みができるアプリを使います。

「撮った」画像を提示装置で「映して」「書き込む」ことで、見せたい部分を焦点化するタブレット端末の活用方法について研修します。



本日の研修の流れは、ご覧のようになります。

※「基本編②(書き込み)」のページを提示し Step 1～Step 5の流れを確認する。



を起動



研修一覧

をクリック



「書き込み」へ

をクリック

「基本編②(書き込み)」のページ

基本編②
(書き込み)

応用編へ 基本編①へ TOPへ

Step1 授業実践例を見よう

Step2 書き込みアプリを使おう

Step3 模擬授業を見よう

Step4 授業づくりをしよう

Step5 アイディアを共有しよう

提示した画像に書き込んで指導する方法を身に付けよう

Step 1

Step1 授業実践例を見よう

授業実践例を見よう

最初に、「Step1 授業実践例を見よう」です。

社会の「住みよいくらしをつくる」という単元で、昔と今の給水量の違いをグラフから読み取る場面です。

では、動画を見ましょう。

授業実践例の動画視聴



※中央の画像をクリック ⇒ Windows Media Player が起動します。



資料にあるグラフのみを拡大してデジタルテレビに映し出すことで、子供たちの視線を集中させていました。

さらに、ポイントとなる部分に印を書き込むことで、子供たちに見せる部分を焦点化していたことが分かります。

また、グラフに囲み線を書き込むことで、変化に注目させ、その後の課題を的確に示していました。

Step2 Step2 書き込みアプリを使おう **書き込みアプリの使い方**



次に、授業実践例の中でも使われていた、Skitch(スキッチ)の操作方法をご覧ください。
動画を見た後に、みなさんにも実践していただきます。
まずは、「アプリの起動～資料の取り込み」までの動画です。では、動画を見ましょう。

Skitch 動画前半の視聴



※ Android 端末および iPad は、1 分 4 秒 で一時停止
Windows 端末は、1 分 15 秒 で一時停止



Android, iPad 版



Windows 版



アプリの起動～資料の取り込みまでを見ていただきました。
お持ちいただいた資料を撮って、画像を取り込んでみましょう。
使用する画像が決まったら、「**チェックマーク**④」をタップして、画像を決定してください。
この後、画像に書き込みをしていきます。
資料を取り込んだらそのままお待ちください。



つづいて、取り込んだ資料に「書き込み」をする操作方法です。
では、続きを見ましょう。

Skitch 動画後半の視聴



※最後の操作説明画面で、一時停止してください。



Android, iPad 版



Windows 版



メニューバーから操作を選ぶことで書き込みができます。
操作方法は画面に示しておきますので参考にしてください。
これから 分ほど時間を取ります。自由に「書き込み」の練習をしてみましょう。

Step 3 Step3 模擬授業を見よう**模擬授業を見よう**

続けて、「Step 3 模擬授業を見よう」です。
技術・家庭科の授業で回路を説明する場面での活用例です。
では、動画を見ましょう。

模擬授業の動画視聴

※中央の画像をクリック ⇒ Windows Media Player が起動します。



授業で活用するイメージを持つことができたでしょうか。
組み立てた回路を「撮って」、大きく「映して」、「書き込み」をして説明している内容でした。
複雑に並んだ部品の中でも、特に本時で注意させたい部分を囲んで示したり、書き込んだりすることで説明が明確になっていました。
実習を伴う教科では、このように生徒の手元にあるものと同じものを映して説明することで指示説明が的確になるので、時間の短縮につながり、より多くの活動時間を確保することができます。

Step 4 Step4 授業づくりをしよう**授業づくりをしよう**

次は「Step 4 授業づくりをしよう」です。お持ちいただいたの資料の中から「撮って」「映して」「書き込む」ことで分かりやすくなる内容を探し、授業での活用を考えてみましょう。
今まで「拡大印刷したり、模造紙に大きく書いたものの上に書き込みたい」と考えて授業の際に準備していた内容と同じと考えて結構です。
グループで相談し合いながら進めても構いません。では、始めましょう。

次の Step では、各グループのアイデアを紹介していただきます。
グループの代表を決めておいてください。

Step 5 Step5 アイディアを共有しよう**アイディアを共有しよう**

次は、「Step 5 アイディアを共有しよう」です。
各グループのアイデアを代表の先生に発表していただきます。
では、こちらのグループからお願いします（順に発表）。

おわり



Step 1～Step 5 までの内容は終了しました。
最後に先生方から感想を発表していただきます。
〇〇先生からお願いします。

※内容や時間に合わせて、発表する先生の人数等を調整しましょう。



以上で、本日の研修は終了です。 今後の授業で活用してみましょう。

今日の研修会で見た動画の他にも「+タブレ」のサイトには、たくさんの「活用例」があります。総合教育センターのサイトから、ご覧ください。



トップページ



模擬授業



「書き込み」
動画へ

をクリック

をクリック

「模擬授業「書き込み」動画」のページ

模擬授業 「書き込み」

TOP ^

カメラアプリで
撮って

表示装置で
映して

書き込みアプリで
書き込む

<p style="font-size: 10px;">01 回路の画像に書き込んで、作業上の注意点を確認する</p>	<p style="font-size: 10px;">02 児童生徒の発言を書き込んで、学級全体で共有する</p>	<p style="font-size: 10px;">03 各班の実験結果を集約して書き込んで、考察させる</p>	<p style="font-size: 10px;">04 撮影した身近な風景に書き込んで、「平行」に気付かせる</p>
<p style="font-size: 10px;">05 図に補助線を書き込んで、問題の解き方に気付かせる</p>	<p style="font-size: 10px;">06 マスキングすることで語句を隠し、既習事項を確認する</p>	<p style="font-size: 10px;">07 児童生徒の絵画作品に書き込んで、特徴を際立たせる</p>	<p style="font-size: 10px;">08 問題文や図に書き込むことで、説明を明確にする</p>

タブレット端末活用動画集
「+タブレ」

応用編 研修モデル
「学校の実態に応じて研修を設計し、
校内研修を充実させよう」



カメラアプリで

撮って

提示装置で

映して

書き込みアプリで

書き込む

応用編モデルⅠ

準備物



コンピュータ、デジタルテレビまたは、プロジェクタ
HDMIケーブル、接続アダプタ
タブレット端末など必要に応じた機器

モデルⅠ(5分)



「応用編モデルⅠ」では、模擬授業（授業実践例）の動画を視聴し、その動画の中で紹介された活用方法を、日常の授業の中で実践していく内容となっています。授業の中での活用のヒントにしてください！

※ファシリテーターは、事前に動画を視聴して、学校のニーズ（時間や活用場面等）に合わせて、視聴する動画の内容と本数を調整しましょう。

はじめに



今日の校内研修では、授業実践例の視聴、実習、アイデアの共有の順に進めていきます。

Step 1 模擬授業(授業実践例)の視聴



まず、『(※動画の説明文で紹介)』の模擬授業（授業実践例）の動画を見てみましょう。活用場面は、_____の場面で、_____のような活用をしています。その部分に注目して、ご覧ください。

※視聴する動画の内容と本数は、各校のニーズに合わせて選択することができます。



— 動画の視聴 —



今の動画では、_____という目的で、_____という活用がされていましたね。



ファシリテーターは、動画の中のポイントをチェックしておきましょう。



← このマークが目印です。

注目してほしいポイントや活用方法を説明する時に活用してください。

Step2 おわりに



以上で本日の研修は終了です。

今日の研修を通して、紹介された活用方法や動画を視聴して発想した活用のアイデアを日々の授業でどんどん活用していきましょう。

次回の研修では、何人かの先生に日々の授業の中で実際に活用している事例を紹介していただこうと思っています。

では、いろいろな場面で活用していきましょう。

応用編モデルⅡ

準備物



コンピュータ、デジタルテレビまたは、プロジェクタ
HDMIケーブル、接続アダプタ
タブレット端末など必要に応じた機器

モデルⅡ(10分)



「応用編モデルⅡ」では、動画を視聴した後に、その動画で示された活用を実習する内容になっています。スキルアップにつなげましょう！

※ファシリテーターは、事前に動画を視聴して、学校のニーズ（時間や活用場面等）に合わせて、視聴する動画の内容と本数を調整しましょう。

はじめに



今日の校内研修では、授業実践例の視聴、実習、アイデアの共有の順に進めていきます。

Step 1 模擬授業(授業実践例)の視聴



まず、『(※動画の説明文で紹介)』の模擬授業（授業実践例）の動画を見てみましょう。
活用場面は、_____の場面で、_____のような活用をしています。
その部分に注目して、ご覧ください。

※視聴する動画の内容と本数は、各校のニーズに合わせて選択することができます。



— 動画の視聴 —



今の動画では、_____という目的で、_____という活用がされていましたね。

ファシリテーターは、動画の中のポイントをチェックしておきましょう。



← このマークが目印です。

注目してほしいポイントや活用方法を説明する時に活用してください。



Step2 実習



では、実際にタブレット端末を操作して、活用方法を確認してみましょう。
周囲の先生方と操作を確認しながら進めてみてください。
こちらの画面でも操作してみますので、不安な方は一緒にやってみましょう。

Step3 おわりに



以上で本日の研修は終了です。

今日の研修を通して、身に付けた活用方法や発想した活用のアイデアを日々の授業で
どんどん活用していきましょう。

次回の研修では、何人かの先生に日々の授業の中で実際に活用している事例を紹介して
いただこうと思っています。

では、いろいろな場面で活用してみてください。

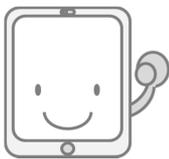
応用編モデルⅢ

準備物



コンピュータ、デジタルテレビまたは、プロジェクタ
HDMIケーブル、接続アダプタ
タブレット端末など必要に応じた機器

モデルⅢ(15分)



「応用編モデルⅢ」では、動画を視聴し、加えて先生方の授業での実践事例を紹介する内容になっています。さらにアイデアを広げましょう！
※ファシリテーターは、事前に動画を視聴して、学校のニーズ（時間や活用場面等）に合わせて、視聴する動画の内容を選んでください。
※事例紹介をしていただく先生に依頼しておくことも忘れずに！

はじめに



今日の研修では、模擬授業（授業実践例）動画の視聴、〇〇先生の実践事例紹介の順に進めていきます。

Step 1 模擬授業(授業実践例)の視聴



まず、『(※動画の説明文で紹介)』の模擬授業（授業実践例）の動画を見てみましょう。
活用場面は、_____の場面、_____のような活用をしています。
その部分に注目して、ご覧ください。

※視聴する動画の内容は、各校のニーズに合わせて選択することができます。



－ 動画の視聴 －



今の動画では、_____という目的で、_____という活用がされていましたね。



ファシリテーターは、動画の中のポイントをチェックしておきましょう。



← このマークが目印です。

注目してほしいポイントや活用方法を説明する時に活用してください。

タブレット端末活用動画集
「+タブレ」

基本操作

「電源の ON, OFF」

「デジタルテレビとの接続」



カメラアプリで

撮って

提示装置で

映して

書き込みアプリで

書き込む

はじめに

準備物



コンピュータ、デジタルテレビまたは、プロジェクタ
HDMIケーブル、接続アダプタ
タブレット端末（説明用、受講者用）



今日の校内研修では、本校に整備されているタブレット端末について研修していきます。

Step1 電源



まずは、基本となる電源のオンとオフについて研修します。
動画を見ましょう。



— 動画の視聴 —



では、タブレット端末の電源を入れてみましょう。
電源が入るのには、少し時間がかかるものもあります。
電源が入るまで、画面を注意して見ていてください。

電源を入れるときは、電源ボタンを長く押すのね。
機種によっては、電源が入ると振動するものもあるわ。



できましたか？まわりの皆さんと、お互いに確認してみましょう。

次に、タブレット端末をスリープの状態にしてみましょう。
電源ボタンを軽く1度押すと、画面が消えます。ではやってみましょう。

スリープとは、コンピュータを待機状態にしておくことです。
電源を完全に切った場合よりも、短時間で起動することができます。

もう1度軽く押すと、使える状態に戻るのね。



タブレット端末は、通常この状態にしておきます。
使用するときは、再度電源ボタンを軽く押します。

次回使用するのが、翌日になるような場合は、電源をオフにします。
オフにするときは、電源が切れるまで電源ボタンを押し続けます（長押し）。
では実際に電源の操作をやってみましょう（Windowsは異なります）。

※電源オフの実習は、研修の最後に行っても構いません

Step 2 接続

準備物



コンピュータ、デジタルテレビまたは、プロジェクタ
HDMIケーブル、接続アダプタ
タブレット端末（説明用、受講者用）



次は、タブレット端末をデジタルテレビやプロジェクタに接続して、映します。
まず、動画を見ましょう。



— 動画の視聴 —



では、実際にタブレット端末を接続してみましょう。
本校の（デジタルテレビ・プロジェクタ）の、接続部分はこちらになります。

ケーブルやアダプタは、接続できる向きや形が決まっているので、
接続するインターフェース（接続口）の形をよく確認しましょう。

※ケーブルには、種類があります。学校のタブレット端末や提示装置で
使用できるケーブルの種類を確認しておきましょう。

ケーブルやアダプタには向きや種類があるのね。

提示装置に映るまでには、少し時間がかかることも
あるのね。ちょっと待ってれば映るよ。



タブレット端末の種類によって、使用するケーブルの種類
が異なります。研修の前に必ず確認を！

例) Android : Slim port, micro HDMI ケーブル
iPad : Lightning ケーブル
Windows : mini HDMI ケーブル

※使用するアダプタも異なります。

※無線での接続は、使用する機器によって異なります。
機器の説明書を参考に接続してください。



カメラアプリで

撮って

提示装置で

映して

書き込みアプリで

書き込む

動画を使った研修を実施するためのファシリテーター用進行資料

宮城県総合教育センター 平成27年度 情報教育研究グループ

〒981-1217

宮城県名取市美田園二丁目1番4号

TEL 022-784-3541 FAX 022-784-3571

URL <http://edu-c.pref.miyagi.jp/jouhou/plustab/>